

平成 31 年度花壇管理

面内 良・信太千帆・島田有紀子

花壇の管理状況

季節ごとの作業概要を記録する。なお、植栽に使用した植物は表 1 に示した通りである。

冬季（1 月～3 月、平成 30 年度業務委託分）

1 月は業務委託を行っていないため、すべての花壇で除草・花がら取りを直営で 1 回ずつ行った。2 月は委託による除草・花がら取りを 1 回、3 月には委託による除草・花がら取りと直営による花がら取りを 1 回ずつ行った。

2 月中旬には、大花壇および大温室横花壇のハボタンが見頃を終えたため、アイスランドポピーに植栽変更した。しかし、このアイスランドポピーにおいて、うまく活着せず枯死する株の数が、花壇の景観に影響を与えるほどではないものの、例年より多かった。この原因については特定することができなかったが、後に考えられたことは、当園の気温が苗の生産場所の気温よりも低く、またその温度差が大きかった、あるいは植付時に根鉢と花壇土壌が密着していなかった、という 2 点である。パンジーについては目立った病害虫の発生は見られなかった。

春季（以後、平成 31 年度業務委託分）

4 月中旬から 5 月上旬かけて植栽変更を行った。例年、6 月以降に降雨が増えることでペゴニア・センパフローレンスに灰色かび病が発生する時期であるが、今年度は晴天が続き、また、梅雨入りが遅かったことで、7 月に入っても発病した株がそれほど目立たなかった。その他の品目についても、概ね良い開花状況であったが、食堂前花壇のタチアオイ・スプリングセレブリティーズ'については、4 月 19 日に植付を行って以降、なかなか咲き揃わず、6 月第 3 週でも 5 分咲きといった状況であった。昨年度から開花期が花色間でばらつく傾向はあったが、今年度は 4 月の気温の日平均、日最高平均、日最低平均がそれぞれ昨年比で -1.9°C 、 -1.0°C 、 -1.4°C と、1 ヶ月を通じて低かったため、抽苔時期が遅れたとみられる。最終的に見頃は 7 月初旬となった。

夏季

強い降雨が 7 月 15 日頃から 7 月 22 日の梅雨後半に集中したため、カスケード前花壇に植栽したペチュニア'スーパーチュニア'シリーズ 2 種が激しく傷んだ。この花壇は降雨時における土の跳ね返りも強いため、それも被害拡大に拍車をかけたと考えられた。7 月 23 日に直営で灰色かび病対策として殺菌剤を散布し、養生に努めた。枯死した株が少なくなかったものの、8 月中旬には再び観賞できる状況となった。しかし、8 月最終週に 1 週間豪雨が続き、再び観賞できない状態まで傷んだため（写真 1）、予定よりも 1 週間早い 9 月 6 日に抜き取りを行った。

また、大花壇に使用したセンニチコウ'チナツ'も、7 月 5 日の植付から 1 週間足らずで斑葉病の発病がみられた。そのため、7 月 16 日に直営でオーソサイド水和剤 80 を 600 倍希釈で散布した。その後、8 月下旬に斑葉病の被害が激しいセンニチコウ'チナツ'紅花を抜き取り、残った白花も当初の予定より 10 日早い 9 月 9 日に抜き取った。この品種は 3 年続けて使用したが、昨年度から草姿が変わったことから、種子親が変わっていることが想像された。また、耐病性も落ちていると感じられた。そのため、次年度は品目を変更することとした。

その他、8 月下旬の豪雨明け以降、小花壇のペントスにハスモンヨトウによる食害が目立ち始めた。9 月 6 日、9 月 30 日に殺虫剤を使用し、10 月上旬になって食害が落ち着いた。

夏季の収穫として、ヒマワリ'サンフィニティ'を用いた迷路（食堂前花壇）の好結果が挙げられる。夏を代表する花としてヒマワリは人気が高いが、見頃の短さが欠点であった。今回使用したこの品種は 7 月 9 日に植え付け、8 月第 1 週目に見頃を迎えてから（写真 2）、9 月 9 日に抜き取るまで、1 ヶ月間良好な開花を続けた。次年度も使用し、植付を 1 週間早めることで、見頃を 1 週間早めることを狙いたい。

秋季

秋季花壇では、カスケード前花壇に使用したサルビア・スプレンドゥス'フラメンコ・パープル'の根が肥料焼けにより痛み、根が伸びず吸水できないという状態に陥った。この原因として、夏季にこの花壇に 1 度施肥したが、ペチュニア

が豪雨で傷み肥料を吸収できておらず、土壌中に肥料分が残っている状態で、サルビア植付直後に施肥を行ったためと考えられる。同じくカスケード前花壇に用いたジニア・プロフュージョンシリーズおよびアルテルナンテラ‘パープル・プリンス’も草丈が大きくなったことから、過剰施肥の可能性が高い。

その他、食堂前花壇のコスモスについて、8月後半に雨が続いたことで日照不足となり、苗の生育が遅れた。これにより、当初より10日遅らせた9月10日に植付を行った。その後は昨年度より開花が遅れたものの、順調に生育が続いた。しかし、うどんこ病には気をつけていたものの、白斑病に対しては対策を怠ったため、10月中旬から罹病する株が目立ち始めた。

冬季 (11月～12月)

11月上旬に花壇の植栽変更を行った。昨年度から気になっていたが、パンジー‘マリボサ’の白花が他の花色よりも生育が悪く、今回は品種変更を行いたい。また、近年稀に見る暖冬により、12月上旬に灰色かび病の発生が始まったため、直営で花がらとりを行った。

来年度の管理

春季は都市緑化フェアのスポットイベントを盛り上げるため、および夏季の豪雨対策のため、

大きく品目変更を行う。また、委託業務および直営による薬剤散布のタイミングを吟味し、より効果的に病害虫防除を行いたい。

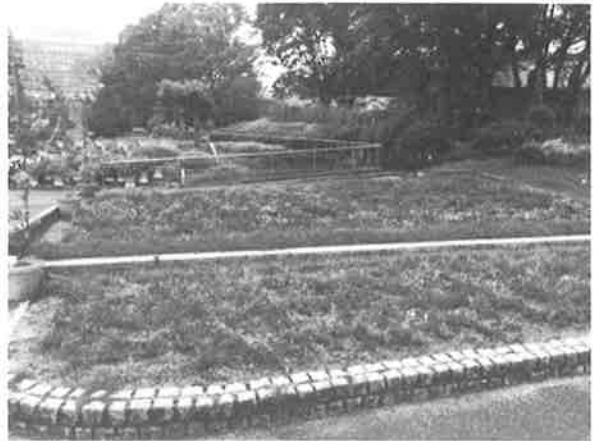


写真1. カスケード前花壇 (9月2日)



写真2. 食堂前花壇のヒマワリ (8月2日)

平成31年度委託花壇使用植物

	春季	夏季	秋季	冬季
大花壇	ベゴニア‘スタラ’ローズ スーパーチュニア‘ビスタ・シルバーベリー’	センニチコウ‘チナツ’白 センニチコウ‘チナツ’赤	アルテルナンテラ・フィコイデア 赤 アルテルナンテラ・フィコイデア 橙 アルテルナンテラ・フィコイデア 黄	パンジー‘マリボサ’青 パンジー‘マリボサ’黄 パンジー‘マトリックス’橙 パンジー‘マリボサ’白 ハボタン‘F1改良紅はと’(2月にアイランドポピー) ハボタン‘F1白はと’(2月にアイランドポピー)
中花壇	ベゴニア‘ビッグ’緑葉ローズ ベゴニア‘ビッグ’緑葉レッド	クレオメ‘セニョリータ・フランカ’ トレニア‘カタリーナ’ピンクリバー’	アルテルナンテラ・フィコイデア 赤 アルテルナンテラ・フィコイデア 橙 アルテルナンテラ・フィコイデア 黄	よく咲くスミレ‘レモネード’ よく咲くスミレ‘ミルクセーキ’ よく咲くスミレ‘ソーダ’ よく咲くスミレ‘ブルーハワイ’
小花壇	アフリカンマリーゴールド‘ブラウドマリー’オレンジ フレンチマリーゴールド‘デュランゴ’イエロー	ペンタス‘グラフィティ・リップスティック’ ペンタス‘グラフィティ・ピンク’	ペンタス‘グラフィティ・リップスティック’ ペンタス‘グラフィティ・ピンク’	パンジー・マリボサ 青 パンジー・マリボサ 黄
カスケード前	ベゴニア‘センパフローレンス’白 ベゴニア‘センパフローレンス’赤 トレニア‘カタリーナ’ブルーリバー’	メランポジウム トウガラシ‘ブラックパール’ スーパーチュニア‘ビスタ・スノー’ スーパーチュニア‘ビスタ・ブルー・moonプラス’	アルテルナンテラ‘パープルプリンス’ ジニア‘プロフュージョン’ダブルホワイト’ ジニア‘プロフュージョン’レモン’ ジニア‘プロフュージョン’オレンジ’ サルビア フラメンコ パープル	パンジー‘マリボサ’白 パンジー‘マリボサ’黄 パンジー‘マトリックス’橙 シロタエギク
カスケード池下	トレニア ミックス	コリウス‘ゴリラ・ジュニア・グリーンハロー’ コリウス‘ゴリラ・ジュニア・ガーネット’	コリウス‘ゴリラ・ジュニア・グリーンハロー’ コリウス‘ゴリラ・ジュニア・ガーネット’	パンジー‘マリボサ’白 パンジー‘マリボサ’黄 パンジー‘マトリックス’橙 シロタエギク
大温室横	ベゴニア‘ビッグ’緑葉ローズ ベゴニア‘ビッグ’緑葉レッド	アングロニア 白 アングロニア‘エンジェルフェイス ウェッジウッドブルー’	アングロニア 白 アングロニア‘エンジェルフェイス ウェッジウッドブルー’	アリッサム‘クリアクリスタル’ ハボタン‘F1改良紅はと’(2月にアイランドポピー)
イベント広場北	ランタナ‘スーパーランタナ・レインボーオレンジ’ ランタナ‘スーパーランタナ・ムーンホワイト’ ランタナ‘スーパーランタナ・サニーイエロー’	ランタナ‘スーパーランタナ・レインボーオレンジ’ ランタナ‘スーパーランタナ・ムーンホワイト’ ランタナ‘スーパーランタナ・サニーイエロー’	ランタナ‘スーパーランタナ・レインボーオレンジ’ ランタナ‘スーパーランタナ・ムーンホワイト’ ランタナ‘スーパーランタナ・サニーイエロー’ コスモス‘センセーション’	プリムラ‘ガーデンプリムラアラカルトシュシュ’黄 プリムラ‘ガーデンプリムラアラカルトシュシュ’桃 プリムラ‘ガーデンプリムラアラカルトシュシュ’桃
食堂前迷路	タチアオイ‘スプリングセレブリティーズ’	ヒマワリ‘サンフィニティ’		